

社会科 授業改善推進プラン

1 学力効果測定結果

- ・全学年において、区の平均点を大幅に下回っており、全ての観点において学習が十分に定着していない。
- ・単一のグラフや表から内容を理解し、傾向を探る読み取りの力がどの学年も十分に育成できていない。
- ・第4学年では、地図の読み取りや、資料、図から読み取ったことをもとに考える力の育成が不十分である。社会科を学ぶ素地の定着が求められる。また、後半の設問に向かうにつれ、無回答率が急増する。
- ・第5学年では、全ての領域の問題で、目標値を下回っている。都道府県の位置や名称、方位などの基本的知識の定着が不十分である。また、資料をもとに考えることができていない。
- ・第6学年では、全ての領域の問題で、目標値を下回っている。日本の国土に関する知識の定着が不十分である。また、資料の読み取りや、読み取ったことから考察することが苦手であると考えられる。単元ごとの知識理解も浅い。

2 児童の実態及び学習効果測定の結果分析（課題）

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
		・表やグラフなどの資料から必要な情報を読み取る力が不十分である。 ・地図記号や、東京都の地図における大田区の位置など、地域の学習において基本的な事項が十分に身に付いていない。	・学年全体の全ての平均正答率が大田区平均よりも低い。 ・資料から読み取って考えることが苦手である。 ・社会科の学習自体への苦手意識が高くある。	・表やグラフなどの資料から必要な情報を読み取り、考察することが苦手である。 ・用語は知っていても、それが行われる目的などについて社会的背景と結び付けて考えることが苦手である。	・資料を読み取り、得た情報を使って自分の言葉で文章にまとめることが苦手である。 ・日本の主な地形の名称と位置について、正答率が目標値を大きく下回っている。これまでに学習した知識が定着していないことがわかる。

3 課題や授業の改善策

	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
知識・技能			・資料を読み取る前に、表やグラフなどの資料の構造や読み取り方を確認する。 ・地図記号の学習において、クイズにしたり、白地図にまとめたりする活動を取り入れる。	・毎授業内で重要な単語や用語を確認したり振り返ったりして、知識の習得につなげる。 ・表、グラフ、写真といった資料の読み取り方を丁寧に繰り返し指導し、身に付けさせる。	・授業で地図や統計などの基本的資料を扱う際に、情報を読み取るための視点を与え、学習内容を理解できるように支援する。 ・知識の定着のために、クイズや復習プリントを活用する。 ・視覚的資料を活用し、扱う内容をイメージしやすくする。	・単元毎に重要な用語を意識的に使って学習内容をまとめさせる。 ・ICTを活用し、視覚的に理解できるようにする。
思考・判断・表現			・資料を基に自分の考えを言葉で表す時間を設ける。 ・地域の特色や歴史について調べ、自分の考えを図表や地図とともに表現する活動を取り入れる。	・学習していることと、実社会のつながりを理解し、社会への関わり方を選択・判断する力を身に付けさせる。	・考えたことや問いを、思考のマインドマップに表し、考えたこと友達と共有する機会を設ける。 ・学習していることと、実社会のつながりを理解し、社会への関わり方を選択・判断する力を身に付けさせる。	・資料から調べ、知った情報から自分なりの考察をまとめ、文章に表す時間を確保する。 ・書き表したまとめを共有させることで、多様な表現方法に触れさせる。
主体的に学習に取り組む態度			・見学や調査の前に問いをもたせ、学びの目的を明確にする。 ・自分の生活とのつながりを示し、学ぶことの意味を感じられるようにする。	・日常生活や経験と学習を結び付けた導入を行い、主体的に取り組めるようにまとめのイメージをもたせる。	・児童らの日常生活の経験と結び付けて導入を行うとともに、見通しとゴールイメージをもたせることで主体性を高める。 ・児童が見出した問いをもとに、授業を展開する。	・主体的に取り組めるように、動画や写真などの関連資料を提示し、興味・関心をもたせる工夫を行う。

※重視する内容は、網掛けで強調する。